

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月11日 (2008.12.11)

【公開番号】特開2006-321794(P2006-321794A)

【公開日】平成18年11月30日 (2006.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-047

【出願番号】特願2006-115166(P2006-115166)

【国際特許分類】

C 0 7 C 45/80 (2006.01)

G 0 3 G 5/06 (2006.01)

C 0 7 C 47/546 (2006.01)

C 0 7 C 47/277 (2006.01)

C 0 7 C 223/06 (2006.01)

C 0 7 D 209/84 (2006.01)

C 0 7 D 209/86 (2006.01)

C 0 7 D 333/22 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 45/80 C S P

G 0 3 G 5/06 3 1 2

G 0 3 G 5/06 3 1 4 B

G 0 3 G 5/06 3 1 3

G 0 3 G 5/06 3 1 9

C 0 7 C 47/546

C 0 7 C 47/277

C 0 7 C 223/06

C 0 7 D 209/84

C 0 7 D 209/86

C 0 7 D 333/22

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月27日 (2008.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

芳香族アルデヒド化合物を原料として用いた電荷輸送物質を含有する層を有する電子写真感光体において、該芳香族アルデヒド化合物が、精製前の芳香族アルデヒド化合物をアルコールと水の混合溶媒に接触させて得られたものであることを特徴とする電子写真感光体。

【請求項 2】

前記芳香族アルデヒド化合物が、求電子置換反応により製造されたものであることを特徴とする請求項 1 に記載の電子写真感光体。

【請求項 3】

精製前の芳香族アルデヒド化合物をアルコールと水の混合溶媒に接触させることを特徴とする芳香族アルデヒド化合物の精製方法。

【請求項 4】

前記芳香族アルデヒド化合物が、求電子置換反応により製造されたものであることを特徴とする請求項 3 に記載の芳香族アルデヒド化合物の精製方法。

【請求項 5】

請求項 3 又は 4 に記載の方法で精製されたことを特徴とする芳香族アルデヒド化合物。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の芳香族アルデヒド化合物を原料として用いたことを特徴とする電子材料。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の電子材料を使用して製造されたことを特徴とする電子デバイス。